

# ユーザーニーズを反映したシンプルで安価な「バスロケサービス」を提供し、若年層を中心に路線バス利用者を拡大、地域交通課題の解決を目指す。

**採択事業者名** 株式会社ハートネットワーク(愛媛デジタル推進グループ)  
**コンソーシアム構成員** 愛媛大学/ソフトバンク株式会社/瀬戸内運輸株式会社/株式会社ハートネットワーク

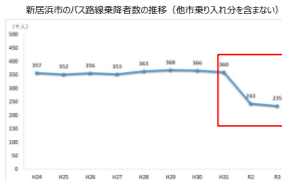
## 事業概要

### 目的

地域が抱える交通課題を解決するため、シンプルで安価なバスロケーションシステムを開発・構築し、交通事業者の業務効率化を図るとともに、誰もが容易に利用できる地域モビリティサービスを実現させ、将来的には複数のモビリティサービスをワンストップで利用できる交通インフラの最適化を目指す。

### 課題

高齢化・人口減少が進む中、路線バス利用者の減少による路線・運行便の減少が地域交通の利便性を低下させ、さらに利用者が減少する悪循環に陥っている。また、運行管理及びユーザー向けサービスのDX化の遅れにより、遅延等のタイムリーな情報提供やユーザーサービスが生まれず地域交通の停滞につながっている。



### 解決策

安価でシンプルなバスロケーションシステムの開発しユーザーニーズに合ったサービスを提供することにより、運行事業者の運行管理業務を一元化させ、業務効率を向上させると共に、スマホアプリにより利便性を向上させ若年層を中心に路線バス利用者を拡大し、地域交通課題の解決につなげる。



取り組み内容	検証項目
<p>地域の課題及び対象顧客の課題解決に向け、以下の要素を盛り込んだ「バスロケーションユーザーアプリ」の開発・構築及び他の公共交通機関との連携(MaaS)の検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■運行管理、運行・路線情報をデジタル化することにより、運行事業者の業務効率及び利用者の利便性向上を図る。</li> <li>■運行データが取得・活用できるシステムを構築する。</li> <li>■蓄積されたデータを活用しさらに効果のあるアプリケーションが開発できる環境を整備する。</li> <li>■市内交通の最適化を視野に入れたシステムを検討する。</li> <li>■システムアプリケーションは、プラットフォーム化し、容易に横展開を可能とする。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>①アプリのダウンロード数(アクセス数)</li> <li>②路線バスの乗降者数の推移</li> <li>③路線バス利用者満足度の比較</li> <li>④事業者へのクレーム数の推移</li> <li>⑤交通事業者の満足度</li> <li>⑥データの利活用実績</li> </ol>
<p><b>LACらバス</b></p>	<p><b>取得データ</b></p> <p>管理システムとユーザーアプリからデータを取得する予定                  ・路線バス運行データ(移動データ、停留時間、遅延頻度等)                  ・ユーザー属性、お気に入り登録内容</p>
	<p><b>データ活用による考察・示唆</b></p> <p>本実証では、データ活用までは実施していないが、取得したデータで、路線の見直し、時刻表の更新など運行の最適化を実施することにより利用者の利便性の向上につながると考える。さらに、ユーザー属性や利用される路線、行き先などのデータを活用し、効率的な広報、利用促進策に活用できると考える。</p>

## 成果と今後

### 成果(含む想定)

バスロケーションシステムの導入により、実装先の路線管理業務の効率化を確認。また、ユーザー向けアプリはペルソナ分析を行いユーザーニーズを反映した機能を装備することにより、実証では概ね使いやすさを実感された結果となった。今後、プラットフォーム化されたシステムの横展開を図る予定。

		実装前	実装後(～今年度)	今後3年
定量面	金額		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 路線管理業務効率効果: 約80万円/年</li> <li>▶ 問合せ対応の不備による機会損失の改善: 約40万円/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 瀬戸内運輸への導入 1,320,000円/年</li> <li>▶ 他地域への展開: 1,320,000円/年/社・自治体</li> </ul>
	重要指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 実装先では過去運行管理システムの実証を行い業務効率の向上を実感</li> <li>▶ 対象地域では、バスロケーションサービスの実績なし</li> <li>▶ 路線バス利用者の減少が深刻</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 路線管理業務のデジタル化による従事時間の削減</li> <li>▶ 業務従事時間の差異: 数時間/人/年/営業所あたり</li> <li>▶ 遅延等によるユーザーからの問い合わせ対応完了件数の改善: 問い合わせ完了によるユーザー運賃の改善により以下の効果 数件/日/年/営業所あたり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 1→4地域へ実装拡大予定 県内1地域に令和7年度導入予定</li> </ul>
定性面		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 所有する車両の一括管理ができずアナログ的な管理となっている</li> <li>▶ 遅延によるユーザーからの問い合わせ対応に時間を有する</li> <li>▶ リアルタイムな運行状況や路線検索がデジタル化されておらず利便性の低下により利用者離れが加速</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 運転士向けに一目でわかる運行状況アプリを提供することによるストレスの軽減</li> <li>▶ 降雪・凍結時の大渋滞による運行方針の判断材料に貢献</li> <li>▶ ユーザーアプリの公開による利用者の利便性の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ システム販売代理店を募集</li> <li>▶ 日本ケーブルテレビ連盟を通じて勉強会を開催予定</li> <li>▶ 販売代理店とともに自治体フェア等のイベントに出展予定</li> <li>▶ バス事業者ネットワークを通じてソリューション紹介</li> </ul>

### 次年度以降の実装計画/見立て

- ▶ 実装先の瀬戸内運輸(株)では、令和6年度より本システムを正式導入(有償)し、路線管理業務のDX化を実現。
- ▶ ユーザーアプリは、せとうちバス対象エリアで稼働させ、一般公開し誰もが利用できるようにする。
- ▶ プラットフォーム化された本システムの横展開を図るため、交通事業者、自治体を中心にアプローチするとともに、ソリューションメニューとして取り扱ってもらえる販売代理店を募集する。
- ▶ 令和7年度には、1地域以上の導入を予定している。